

3月くるみぐみだより

担当：久保田眞由美 小湊雅美

日中暖かな日差しに包まれて、戸外で遊ぶことも多くなってきました。一人ひとりの表情を改めて見ると、笑ったり泣いたり表情豊かになり、あどけなかった表情も頼もしくなりました。

大人にとってはあっという間の一年も、子どもたちには毎日新しい発見や出会いの連続だったことでしょう。子どもたちを見つめ直すと、その成長振りに驚かされます。くるみさんで過ごすのも、残りわずかです。温かく穏やかに過ごしていきたいと思っています。

3月の行事

- ・ 3日（火）ひなまつりお茶会
- ・ 7日（土）修了式（午前中）
- ・ 17日（火）お楽しみ会ぶどうさんとお別れ会
- ・ 18日（水）火災訓練
- ・ 21日（土）出発式のため在園児休み
- ・ 28日（土）新年度準備期間のため休み

●今月の歌

うれしいひなまつり ・たんぼぼ ・つくしがでたよ
・おはながわらった ・うぐいす

●今月のわらべうた

・ばくさん ・ぜんぜがのんの ・こまんか
・どっちゃんかっちゃん ・おさらにとまごに

●今月の絵本

あそびましょ どすこいもんちゃん あそびましょ
ありのあちち ぶらぶらさんぼ

★新しいお友だちが入ります

中川 なごみさん(11月15日生まれ)です。

くるみ組での生活は残りわずかですが、仲良く大きくなっていきましょね。よろしくお願ひします。
まつぼっくり組にお姉さんのりづさんがいます。

◇おおきくなったよ ～発表会を終えて～



発表会では、いつもと違う雰囲気を感じ、恥ずかしそうにうつむいたり、立ち止まっていたり、いつもと変わらない笑顔を見せてくれたり、それぞれの表情を見ることができま

した。たくさんのお客さんに見守られる中で、保育士やお友だちを支えに、誰ひとり泣く事なく、舞台の上で遊ぶ事が出来ました。0歳児のくるみ組の子どもたちにとって、たくさんの方の前に出る事は、非日常的な事で、不安な事だと思います。そんな中で今回、子どもたちが楽しんで舞台遊びができた事は、とても大きな成長だと思います。



朝の会では、笑顔で挨拶をしたり、歌にあわせて手を叩いたり、お名前を呼ばれて笑顔で応えてくれたり、「はい」と手をあげてくれたり、かわいい表情が見られました。カエルさんとの出会いでは、歌に合わせて真似っこしたり、一緒にジャンプをたのしみました。石に見立てた大きい箱を抱えて「はい」と持って行く姿は“こんなことも出来るんだ”とあそびを通して感じた場面でした。泣きながらでてきた犬さんをすぐに「よしよし」となでに行った子どもたち。「よしよし」も生活の中で自然と子どもたちから出てきた仕草で、集団の関わりの中で他者との関わりが深まってきているんだなと微笑ましく、心も成長が感じられました。「あっぷっぷ」とにらめっこをしたり、みかんを採って「あっぷん」と食べる真似をしたり、言葉にあわせて模倣する力もつきました。普段の遊びの中で取り組んできたまねっこあそびを通して、子どもたちは表現する力を育んできました。豊かな表情と身体を動かす姿に成長を感じました。

一番小さなとあ君も、自分で座り、音がするおもちゃに自分から手を伸ばしてして遊ぶ姿は、可愛らしく、意欲的で頼もしく感じました。

◇絵本



絵本が大好きな子どもたち。最近では好きな絵本を棚から見つけて、子ども同士見合ったり、保育士の真似をして「♪おはなしさん～」と絵本を頭の上に乗せる仕草をしたり、絵本に触れることが多くなりました。絵本を読むときは、“子ども”と、読み手である“保育士”と、保育士が読んでいる“絵本の場面”、この3つの関係を結んであげることによって、その場面の意味や絵本の世界が少しずつ分かってきて、絵本の場面を見て、「みつけた」「だあれ」「あそぼう」と、言葉や仕草を真似っこするようになりました。このようなことを繰り返すことで、保育士と真似っこ遊びをする楽しさを積み重ね、絵本がますます大好きになっていくのではないかと感じます。

今、子どもたちは絵本の入り口に一步足を踏み出し、これから見立て・つもりの世界を楽しんでいくようになると思います。その力をつけるためにも、園でもご家庭でも、絵本への関心をもっと膨らましていきたいですね。

◇運動 ～歩きはじめの散歩～

歩くことが楽しくなり始めた子どもたち。この時期は、十分に一人

歩きができる所、階段や坂道を登り降りすることでバランスを取って歩くことができる所で散歩を楽しみたいものです。歩く機会が大人も子どもも少なくなりがちな日常ですが、これから春に向けて散歩に適した季節になります。散歩を通して子どもたちの歩きたい欲求を満たし、歩く経験をたくさんすることで足腰を鍛えていきましょう。



1歳を迎えた子どもたちにとって散歩は、見て、聞いて、触れて、匂いをかいで周りの世界を豊かに感じ取り、思わず言葉が出たり、物と名称が一致して言葉に結びついたりする大切な機会でもあります。また、大人と違って同じコースを通り、同じ場所に繰り返し行くことで、いつもの出会えるものに対する期待感が膨らみます。慣れた場所で安心して遊ぶことができ、一度通っただけでは見つけられなかった、様々なものを発見します。散歩コースを選ぶときはこれらのことを大切にしています。



大人の目の高さでは見えないものが、子どもの目の高さになると、見えてきます。修了式では、一緒に感動したり、驚いたりする瞬間を大事にして、親子で散歩を楽しめたらと思っています。

～這う活動を豊かに～



8カ月をむかえるとあ君。座位を獲得して、自分の力で腹ばいから座ったり、また、四つ這いになって好きな玩具や保育士の方へ這って行こうとしたり、行動の範囲が広がってきています。この時期、しっかり這う活動を楽しんでいくことが、これから歩行を獲得していく過程でもとても大切です。十分に這って遊べる空間を作ってあげて、大好きな玩具や、お友だち保育士との触れ合いを通して、自分で「行ってみたいな」「行こう」と手を伸ばして、足で蹴って進んでいけるように見守っていききたいと思います。

◇集団



進級をむかえる子どもたちは、友だちを区別してとらえられるようになってきました。自分と同じくらいの友だちは遊びを共有しあう存在であり、憧れたり、オモチャを取り合ったりする仲間です。また、自分たちより小さいとあ君には「どーぞ」と玩具を持って行ったり、反応が気になり、顔を覗き込みとあ君がにっこり笑ってくれるのを待ったり、遊びだすまで待ったりと、様子をうかがう姿も見られます。それと同時に、上のクラスのお兄ちゃんお姉ちゃんの姿にも憧れます。お兄さんが作っているブロックの形に興味を示して、同じようにしてみたいと手を伸ばしたり、かっこいいリズムを見て、まねしようとする子が増えてきました。

自分と同じくらいの友だち、自分より小さい友だち、自分より大きい友だち。そんな集団の中で育っている子どもたちです。

◇言語・認識 ～仲間の中で育つ～



生活の中でお友だちを名前と呼んだり、「かして」「ちょうだい」と言葉で伝えたり、「あ～!」「いや!」「〇〇の!」と自己主張したり、言葉を使ってやりとりする姿が多くなりました。また、自分のマークや持ち物が分かりはじめて、他の子が自分の椅子に座っていたり、靴やジャンパーを持っていると「ダメ」「ん!」と取り返しに行ったり…。今くるみ組のお部屋は子ども同士のいろんなやりとりが見られて、笑いあり、時にはけんかで涙ありで、賑やかで楽しい毎日です。子どもは、言葉を一つずつ教え込まれて覚えていくわけではありません。周りの大人や友だちとの関わりを通して子どもたちはコミュニケーションの手段である言葉を身に付けていきます。

また、言葉の発達の土台となる力の中には、全身運動をしっかりすることや、手の力、噛んで食べる力、笑顔と笑い声を他者と共有できる力などあります。いろんな力が育つ中で、脳が発達し言葉を獲得していきます。言葉だけにとらわれるのではなく、赤ちゃんの頃からあやして笑顔を交わしあったり、指さした物に言葉を添えていったり、全身運動、手指の力、モグモグ、ゴクンなど噛む力や舌の使い方など、土台となる力も大切にしていきたいと思えます。

◇手指・探索



ひな人形を作りました。保育士が準備したお雛様とお内裏様の台紙に、スタンプで着物の模様をつけ、髪の毛をクレヨンで描いて、目と口をシールで貼りました。1つ1つの作業にも嬉しそうに、「ペッタン」「おめめ」「あっ」とおしゃべりしながら集中して取り組み、お友だちがしている様子も気になってのぞきにきていました。出来上がると一人ひとり違った表情のひな人形となり、ニコニコ「かわいい～」とつぶやいて手に持って見ていました。お部屋に飾ると、春らしく明るくなりました。3日のおやつは“お茶会”で、ぶどうさんが作ってくれるお菓子入れに雛あられをいれてもらい、楽しくいただきます。

◇生活

●身辺自立 ～遊んだ後は“お片付け”～

朝、荷物整理、排泄を済ませると、「なんの玩具であそぼうかな」と自分たちで玩具の棚をのぞいて、好きな玩具を出して遊んでいます。しばらくあそんだ後、「あ、牛乳飲みたくなかったね。お片付けしようか」と誘い、「♪おかたづけ～おかたづけ～」と歌いながらお片付け

をしています。最近はお片付けも楽しい活動で隅に転がっている玩具も「あった」と見つけてはかごに入れてくれます。「すごいね～、上手」「お片付けたのしいね」と話していると、まだ遊んでいた子どもも“自分も出来るよ”とばかりに手に持っていた玩具をお片付けに来てくれます。まだ大人の手が必要ですが、いつも決まった入れ物に仕付けていれ、同じ場所に置くことで、子どもたちも解りやすく、片づける習慣が少しずつ身についていくんだと思います。「お部屋がきれいになって、気持ちいいね」と確認して次の活動に移っています。

●食事 ～わぁ～鬼さんだ～



節分の日の給食は、給食の先生の計らいでお皿に鬼さんの顔が乗っていました。お顔はハンバーグ、髪の毛はスパゲティ、目はグリーンピース、角はスナックのとんがりコーンです。「わぁ～」「オニ」「こわーい」と目の前のお皿を覗き込んだり、指さしてみたり、さっそく髪の毛からつまんで食べたり、様々な姿がみられ楽しい給食の時間でした。季節ごと、行事ごと、に工夫された給食を食べられることも園生活の楽しみです。

スプーンを使って食べることがだいぶ上手になってきました。時には手づかみで食べるお友だちもありますが、「スプーン上手だね」と声を掛けると、気づいてスプーンで食べ始めます。上持ちで食べたり、下持ちで食べたり、どの子もご飯やおかずをすくうと慎重に口へ運んでいます。大グループの子どもたちは、「お手手お茶碗にそえたらいいよ」と声をかけると、左手を添えるようになりました。また、手を添えることですくいやすいことがわかると、自然と手を添えていることもあります。好き嫌いも出てきますが、例えば苦手なお野菜は、始めに保育士が「う～ん、おいし～い!」と食べて見せると、ニコニコしながら自分でも食べてみて「おいし～」と言って食べてしまえたりします。

●排泄



とあ君も、オマルに挑戦し始めました!大きいお友だちがが座っているのを、興味深そうに見ていたのですが、いざ座るとなると不安げなとあ君。でも、2回3回と座るとすぐに慣れてきました。慣れてくると、オマルに座ったまま周りを見回したり、ニコニコ笑ったりして余裕の表情です。